

(件名) スポーツ・コンベンションセンターの整備推進に向けた陳情書

(陳情の趣旨)

過去に鹿児島県総合体育センター体育館は様々なプロレス団体の興行が開催されてまいりました。鹿児島県総合体育センター体育館はかつて鹿児島県内でプロレス興行が開催される際の主要な会場として鹿児島県立体育館と呼ばれ長年使用され親しまれてきました。

日本のプロレス史において日本人で世界タイトルマッチに勝利し戴冠したのは、1974年12月2日にジャイアント馬場選手がジャックブリスコ選手を破り始めてNW A世界選手権者になった歴史的に語り継がれる伝説の会場でもあります。

私も幼少期の頃からプロレス観戦に行った思い出があります。全日本プロレス、新日本プロレス、全日本女子プロレス、JWP、FMWなど私の思い出のある体育館です。近年自動車社会になり駐車場を併設した会場をプロレス団体が選択したり、県立体育館の老朽化や市民のスポーツを優先して会場が取れずイベントホールでのプロレス開催が続いたり、イベントホールでの開催だと集客が見込めず鹿児島での開催を見送る団体も増えていたりしているのが現状です。

私たちは早期にぜひともスポーツコンベンションの整備を進めていただき、昔のようにプロレス団体が鹿児島にもきてくれるように切に望み子供たちをはじめとするプロレスファンや県民のみなさまたくさんの方にプロレスの興行を観戦していただきたいと考えます。

現在九州ではプロレス団体のビッグマッチは福岡で開催できるくらいですが、鹿児島県のスポーツコンベンションの規模においてはビッグマッチ開催も可能で相当な経済効果もあると考えスポーツ・コンベンションセンターの整備では十分に考慮していただきたいと考えます。現在、各プロレス団体にはスポーツコンベンションの計画があることを伝え多くの団体から賛同を得ております。このようなことから以下の内容を陳情します。

現在の県体育館は、これまで多くのプロレス大会を開催してきた。その意思を引き継ぎ、スポーツ・コンベンションセンターの整備を確実に進め、プロレス大会の開催も可能なものとする事。